

SMAC サイド&バックカントリー セッション/ツアー Q&A

皆さんの不安や疑問にお答えします。

Q: サイドカントリーってなんですか？
A: スキー場ではない山岳エリアでの滑走をバックカントリーと言います。ゲレンデの近くですが、自然のままの状態を滑走し、管理されていない、保障されていない場所を意味します。スキー場のすぐ近くではなく、バックカントリーの「手前」をサイドカントリーと位置付けています。
Q: オフピステってなんですか？
A: スキー場の整地されていないコースではなく、スキー場のエリア外、管理区域外のことです。オフピステ＝新雪、深雪だけではありません。様々な雪質、条件があります。
Q: 新雪での滑走経験があまりないのですが参加できますか？
A: パラレルで滑走できれば、あとは「やる気」次第です。参加者に合わせたラインを選んでエスコートしていきます。徐々に慣れていくことにより、滑走がとても楽しくなります。
Q: 深雪が苦手ですが大丈夫ですか？
A: 足元を沈めしていく操作と浮き上がる感覚のアドバイスをします。参加者に合わせたエリアへご案内します。足元にぶつかる雪のブレーキ感と左右のバランス感覚に慣れてくると最高に面白くなってきます。
Q: パウダーはいつ行けば滑ることができますか？
A: 1300m～2000m 付近では、12月下旬から2月下旬に「パウダー率」が高くなっています。タイミングが合えば3月でもパウダーを滑ることができます。しかし、タイミングが悪いと真冬の時期でも湿雪になることもあります。
Q: いつでもノートラックなんですか？
A: 基本的にはシュプールのついていない「ノートラック」のエリアへご案内しますが、状況によっては、そうならない場合もあります。地元に住んでいるからこそその、その日のベストポイントエスコート率、90%以上です。
Q: あまり体力に自信がありません。どのぐらいのハイクアップがありますか？
A: 参加される方のレベル、経験値、体力などにより、その日のベストポイントへご案内します。原則として、「登らないで済むライン」を提供していきますが、タイミングや場所によりトラバース移動やハイクアップもあります。登りよりも滑走がメインですので、参加者に合わせた「量」となりますのでご安心ください。
Q: 携行品や装備品を持っていないのですが、大丈夫ですか？
A: オフピステを中心に滑走しますので、 必須携行品 (ビーコン、ショベル、プローブの3点セット及びクライミングスキンは必要です。また、急登行やハードパックの移動やハイクアップの可能性のあるツアーもあります。その場合は、 特別携行品 (スキークランポン、アイゼン、ピッケル)を追加携行することもあります。これらをお持ちでない方は、レンタル(有料)がありますので、ご利用ください。使用方法なども事前にお教えしますので、ご安心ください。
Q: 雪崩は実際に起きますか？
A: いつでもではありませんが、起こる可能性はあります。危険な場所は事前に回避し、慎重に予測判断を行ないます。行動中に、予測判断についての知識の伝達としてケーススタディを実施します。また、セルフレスキューについての講習も行ないます。
Q: 車がないのですが、日帰り参加できますか？
A: 場合により、日帰り参加も可能です。平日は1日参加(連続受講可能)が基本で、週末は、1泊2日以上が基本セッションとなりますが、空き状況によりフレックス参加(1日のみの参加可能)を受け付けています。原則的には、セッションのスケジュールは朝のスタートが早い為、電車でお越しの場合は、前泊していただいています。遅い時間でも越後湯沢駅まで送迎が可能です。荷物などの宅急便の受け取りや発送もできます。また、道具のお預かりも可能です。お気軽に電車でお越しください。
Q: 1人でも参加できますか？
A: ほとんどの方が1人での参加です。安心してご参加ください。
サイド&バックカントリーのフィールドでは遭難事故も発生しています。決して安易なパウダーエリアではありません。特にバックカントリーに行かれる際には、一人ではなく、必ず仲間と行動しましょう。そして、全員が、安全装備を身につけ、十分な知識を持ち、保険に加入していることを確認して下さい。アドベンチャーには必ずリスクが伴います。もし不安を抱えているのであれば、まずはコーディネーターと一緒に初めてみましょう。
この他、わからないことがありましたら、何でもお問い合わせください。また、使用品などに関するご相談もお答えできる範囲でお話させていただきますので、お気軽にご連絡ください。